WHOも認める特殊音響とモーツァルトの相乗効果!

「腸と心を整えるCD」

便秘・下痢・ガス腹・頭痛・不定愁訴・乾燥肌に効いた!

腸と心の正常な働きを回復する「特殊音響とモーツァルト」のCDを世界初公開

サイマティクスドクター・マナーズインターナショナル代表　平田小百合

英国の医学博士が開発した細胞に働く特殊音響

今回の付録CD（巻頭）には、次の2つの大きな特徴があります。

・「腸」と「心」の状態を整えるのに役立つ特殊音響を収録

・特殊音響をモーツァルトの楽曲とミックス（今回が初の試み）

まず、特殊音響「マナーズサウンド」についてご説明します。これは英国の医学博士、サー・ピーター・ガイ・マナーズ（1915～2009）が音の持つ力を治療に活用する目的で開発したものです。

音とは、空気の振動による現象です。1秒あたりに起こる振動の数を「周波数」といい、ヘルツ（Hz）という単位で表します。

音に限らず、光（可視光線）や電磁波など、周期的にくり返されるあらゆる現象（振動）は、周波数で表すことができます。

そして実は、私たちの体を構成するすべての細胞、さらにはありとあらゆる物質が常に振動していることが現代の物理学では明らかになっています。

マナーズ博士は、私たちの心身の細胞が正常（健康）なときには、それぞれに特定の振動数（周波数）があることを明らかにしました。しかし、なんらかの理由でこの振動が乱れると、細胞の形や性質が変化し、正しい働きが阻害されます。その結果、病気や不調が起こるのです。

細胞の乱れた振動を正しく調整するために用いる特殊音響が、マナーズサウンドです。

振動が乱れている細胞に、特殊音響の振動を共振させ、細胞の振動を正常な状態に戻す。すると、細胞は健康な状態に戻る。これが、マナーズサウンドのしくみです。

このように特定の周波数の音を用いて、体の正常な機能や自然治癒力を回復させる療法を「サイマティクス療法」（音響療法）といい、代替治

ひらた　さゆり　マナーズインターナショナル株式会社代表取締役。マナーズサウンドアカデミー代表。一般社団法人日本マナーズサウンド協会理事。音響振動療法「マナーズ・サウンド」を英国で学び、サイマティクス・ドクターの資格を取得（WHO公認）。オリジナルのマナーズミュージックを収録した『マナーズ博士生誕百周年記念アルバム』が発売中。著書に『全身の巡りをよくしてデトックスするCDブック』、『自律神経を整えて超健康になるCDブック』（小社刊・詳細は19ページ）、『聴くだけで心が和らぎ疲れがとれるCDブック』（アスペクト）。
公式サイト　http://www.manners-inc.jp/
平田先生のブログ　http://ameblo.jp/youreyou/

★9月9日（金）19時、アクロス福岡1F円形ホールにて「癒しの健康音楽 マナーズサウンドミュージック・ライブコンサート」開催決定。詳細は公式サイト参照。

英国発の治療用特殊音響「マナーズサウンド」で全身の細胞を活性化

特殊音響で胃壁の細胞の働きが正常に

特殊音響が再現する胃壁の正常な振動（左）を、不健康な状態の胃壁（中央）に共振させると、胃壁の振動が正常に戻った（右）。

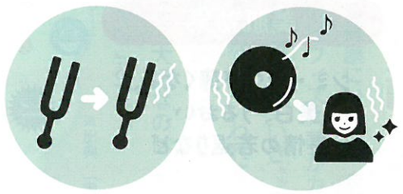
◎高血圧や糖尿病の治療への活用も

マナーズ博士（写真左）の開発した「マナーズサウンド」は、代替療法の研究・適用がさかんなイギリスで、実際に活用されている治療法の1つです。

イギリスのブレットンホール・クリニック（写真右）では、マナーズサウンドを用いて、腸や心の症状の他にも高血圧・糖尿病・腰痛・肩こり・冷え・うつ・カゼなどの治療が行われています。さらに、エイズ、筋ジストロフィー、脳溢血の後遺症による半身不随などで西洋医学から見放されたかたが、健康を取り戻した例もあります。

◎特殊音響で体の細胞が活性化!

マナーズサウンドの特殊音響が、人の体の細胞を活性化するしくみは、音叉（おんさ）（楽器の調律などで使われる、決まった振動数の音だけを出す、金属製の道具）をイメージすると、理解しやすいです。周波数が同じ音叉A・Bを用意し、音叉Aを鳴らすと、その振動が音叉Bに伝わり、音叉Bは勝手に鳴り始めます。音叉Aを特殊音響、音叉Bを体の細胞に置き換えると、音を浴びた細胞が、特殊音響によって活性化することが納得できます。



イラスト／なかむら葉子　写真／松田敏美（17・19ページ）